

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、さぎの宮圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和4年3月24日（木）13時30分から14時40分まで
参加者	委員：9人 事務局：1人 その他：10人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：1人、笠井・長上協働センター：2名包括支援センターさぎの宮：2人、浜松市社協：3人）
場 所	笠井協働センター講座室
内 容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 前回の振り返り 事務局から前回の会議録に基づき報告。</p> <p>3 グループワーク 家事支援をテーマに地区ごとに今後の進め方等について協議 [意見等]</p> <p>[笠井地区]</p> <p>①3月18日、笠井地区の役員会で提案「共助型交通」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の職員から共助型交通について話を聞き、笠井地区について実現性があるかないか意見交換したい。 ・このやり方は山間部では必要だと思うが笠井地区は、切羽詰まった状態にはないため、立ち上げたとしてもあまり広がらないし、必要ないのではないかと思う。 ・病院の受診時間や場所等の要望に皆が時間や日をわせるのが難しい。 <p>②移動スーパー（とくし丸）の現状⇔遠鉄ストア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とくし丸の移動スーパーは毎週火曜日の13時50分～ヒロセ美容室、おおり笠井、豊町羽島、あと個人宅を回っている。 ・常光地区は2か所（住吉神社と清心寺）で行っている。お寺の住職が椅子を用意したり、地域の人が手伝ってくれたりとしりずつでも地域でサポートする体制がとくとよくなると思う。 <p>③「だるま会」規約原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だるま会の規約の原案を考えていきたい。笠井町を世帯数で二つに分ける方向で考えている。立ち上げのための助成金については、現在確認をしている。 <p>[長上地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年4月から始まり、1年が経ち、予想を超えた利用者があった。外国人の利用も多い。12町のうち6町に支援リーダーがいない。今まで高齢者を対象にしてきたが、これからはすべての年代を対象とする。 ・コロナ禍で活動がストップしたこともあり、再開時は広報をしないとけないと思う。

	<p>4 各地区からの報告 地区ごとに話し合った内容について委員から報告。</p> <p>[笠井地区]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笠井地区で75歳以上の独居高齢者215名を対象に家事支援でどんなことをお願いしたいかアンケートを実施した。その結果、室内の高所作業、植木の手入れ、草取り、この3つの要望が多かった。 ・議員さんが紹介してくれた「おともに」から移動支援について提案があったが、笠井地区では壁が高い。 ・買い物支援は、杏林堂のとくし丸が好評。遠鉄ストアの移動販売もセミナーで紹介があった。 <p>[長上地区]</p> <p>家事支援について話し合ったこと報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートして1年が経った。自治会長からの後押しもあり、まずはやってみなければならぬという気持ちでスタートした。 ・長上地区は12町からなり、町単位で活動することを目指した。支援員は70名で6割が支援に出向けた。参加できなかった支援員のフォローが課題。 ・支援に出た延べ人数は863人。ゴミ出しの件数が最も多く399件。次いで草取り・植木の選定が110件と多かった。 ・新規の支援で、子供の見守りの依頼があったが、室内で一緒にいることになるのでコロナ禍ということもありお断りをした。高齢者の話し相手についても電話にて対応した。 ・リーダーについては6町が不在。今後、自主的なボランティアとしてのリーダーが出そろえるのを期待する。 <p>5 その他</p> <p>6 副会長挨拶</p>
今後の見通し等	令和4年度第1回協議体会議については、令和4年6月上旬を目安に調整していく。